

技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.22 HZ17/7/24

若者たちが発信する「与板の誇り 打刃物」

6月のキャンドルナイトが無事に終了した後も、各方面からのマスコミ取材が相次ぎました。特に目立ったのは、地域の伝統工技術に光をあて積極的にかかわろうとする若者たちが動き始めている点にメディアが注目しているということでした。「古いものは角度を変えれば新しい」その発見が若者たちを引き付けているようです。



夜の闇の中でくり
広げられた古式鍛
錬パフォーマンス。
鉄を鍛える火花が
力強く幻想的で、
多くの観衆を魅了。

育て！ 伝統技術の後継者（小学校体験授業）

7月10日は地元の与板小学校4年生が、打刃物について学ぶ体験授業でした。子どもたちの素直な感性にこちらのほうが感動を貰いました。今年で4回目を迎えたこの小学校での鍛冶体験授業、毎年子どもたちの反応が楽しみです。「この中からいつか、こんな刃物を作ってほしいなどの提案が出たり、打刃物に関わる仕事をしてみたいという子が現れるのを期待している。」と久住会長。地域の産業文化の記憶が次世代に引き継がれていくことを願っています。



真剣な表情で重たい鎚を振り上げて、鉄をきたえる。
「熱くてたいへんだった。職人さんはすごいなあ！」

いよいよ「TANTON」がデビューします！



先日の日報にも大きく取り上げられましたが、匠会の新たなチャレンジである製品「TANTON」がようやく来月デビューの日を迎えます。与板産のノミと鉋、脇野町の鋸など地元の優れた技術を集めて、女性向けの工具セットとして提供します。

また、10名の木工好きの女性を募集して与板で木工製作を取り入れたツアーを開催。



木工活動を予定しているうまみち森林公園。森の中でのキャンドルナイトも呼び物の一つだ。

来たれ！ ものづくり女子。与板へ。

募集チラシとホームページ、フェイスブックなどで参加者を募っています。また、8月5日夜にはこの合宿イベントについての関係者が一堂に会しての、全体打ち合わせ会を行う予定。みんなで心一つに気合を入れて、この女子合宿を成功させようではありませんか。